

給与支払報告書(個人別明細書) 記入例

※	種別	※	整理番号	※
7	支払を受ける者	住所	氏名	③
	福岡県三潁郡大木町大字八町牟田 1111	オオキ タロウ	大木 太郎	
	種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の合計額
	給与・賞与	8,000,000	6,100,000	2,680,000
	源泉徴収対象配偶者の有無等	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族の数	障害者の数
	有 従有 老人	38,000	1, 1	1
	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
	800,000	120,000	50,000	18
20	(摘要)	源泉徴収時所得税減税控除済額120,000円、控除外額0円 福岡県大川市酒見×××株式会社〇〇商事 令和6年3月31日退職 支払金額 1,000,000円 徴収税額 10,000円 社会保険料 150,000円		
19	扶養親族等の区分	控除対象扶養親族	16歳未満の扶養親族	
	氏名	大木 花子	大木 一郎	
	氏名	大木 良子	大木 一郎	
	氏名			
	氏名			
	氏名			
15	未成年者	16 中途就・退職	17 受給者生年月日	
	就 職 退 職 年 月 日 元 号 年 月 日	〇 6 4 1 平成 5 5 5		
	個人番号又は法人番号	住所(居所)又は所在地		氏名又は名称
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 1 2 3	福岡県三潁郡大木町大字八町牟田255-1		大木 株式会社

記載欄名	記載すべき事項										
①住所	令和7年1月1日現在の住所又は居所を記載してください。										
②個人番号	本人のマイナンバーを必ず記載してください。										
③氏名	本人の氏名及びフリガナを必ず記載してください。										
④(源泉)控除対象配偶者の有無等	該当する欄に「○」を付してください。										
⑤配偶者(特別)控除の額	配偶者控除又は配偶者特別控除額を記載してください。										
⑥控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)	該当する欄に人数を記載してください。										
⑦16歳未満扶養親族の数	人数を記載してください。										
⑧障害者の数(本人を除く。)	該当する欄に人数を記載してください。										
⑨非居住者である親族の数	(源泉・特別)控除対象配偶者及び控除対象扶養親族のうち、非居住者の人数を記載してください。										
⑩基礎控除の額	基礎控除額が48万円以外の場合は、記載してください。										
⑪所得金額調整控除額	所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除の額を記載してください。										
⑫(源泉・特別)控除対象配偶者	(源泉・特別)控除対象配偶者及び控除対象扶養親族、16歳未満の扶養親族の氏名及びフリガナ、マイナンバーを必ず記載してください。 なお、(源泉・特別)控除対象配偶者及び16歳未満の扶養親族が非居住者である場合には、区分の欄に「○」を付してください。 また、控除対象扶養親族が非居住者である場合には、区分の欄に内容に応じて、次のとおり記載してください。										
⑬控除対象扶養親族											
⑭16歳未満の扶養親族											
	<table border="1"> <tr> <th>非居住者である控除対象扶養親族の区分</th> <th>記入方法</th> </tr> <tr> <td>30歳未満又は70歳以上</td> <td>01</td> </tr> <tr> <td>30歳以上70歳未満、留学生</td> <td>02</td> </tr> <tr> <td>30歳以上70歳未満、障害者</td> <td>03</td> </tr> <tr> <td>30歳以上70歳未満、38万円以上送金(※)</td> <td>04</td> </tr> </table>	非居住者である控除対象扶養親族の区分	記入方法	30歳未満又は70歳以上	01	30歳以上70歳未満、留学生	02	30歳以上70歳未満、障害者	03	30歳以上70歳未満、38万円以上送金(※)	04
非居住者である控除対象扶養親族の区分	記入方法										
30歳未満又は70歳以上	01										
30歳以上70歳未満、留学生	02										
30歳以上70歳未満、障害者	03										
30歳以上70歳未満、38万円以上送金(※)	04										
	※「38万円以上送金」とは、扶養控除の適用を受けようとする者からのその年において生活費又は教育費に充てるための支払を38万円以上受けている者をいいます。										
⑮未成年者から勤労学生までの各欄	本人について、該当する事項がある場合に「○」を付してください。										
⑯中途就・退職	年の途中で就職や退職した方については、該当欄に「○」を付し、その年月日を記載してください。										
⑰受給者生年月日	本人の生年月日を必ず記載してください。										
⑱住宅借入金等特別控除の額	年末調整の際に控除した住宅借入金等特別控除の額を記載してください。										
⑲住宅借入金等特別控除の額の内訳	年末調整において住宅借入金等特別控除の適用を受けた場合は、適用数・居住開始年月日・控除区分・年末残高を記載してください。なお、年末調整で所得税から控除しきれない住宅借入金等特別控除額がある場合には、住宅借入金等特別控除可能額を記載してください。										
⑳(摘要)	(1) 中途就職者で前職分を含んで年末調整された場合は、前事業所の住所・名称・退職日・給与収入額・源泉徴収税額・社会保険料の金額を記載してください。 (2) 普通徴収を申請する場合は、普通徴収申請書に記載の略号A~Fを記載してください。 (3) 給与所得が1,000万円超で、同一生計配偶者を有する場合には、同一生計配偶者の氏名及び同一生計配偶者である旨を記載してください。(例「氏名(同配)」) (4) 所得金額調整控除の適用がある場合には、その扶養親族の氏名を記載してください。ただし、控除対象扶養親族欄等ですでに記載している場合には省略可能です。(例「氏名(調整)」) (5) 退職手当等の支払いを受ける配偶者又は扶養親族を有する場合には、氏名及び退職所得を除く合計所得金額を記載してください。(例「氏名(退職所得)〇〇円」) (6) 定額減税に関する事項を摘要欄の一番最初に記載してください。(令和6年中支払のみ) 実際に控除した年調減税額を「源泉徴収時所得税減税控除済額××円」と記載します。また年調減税額のうち年調所得税額から控除しきれなかった金額を「控除外額××円」(控除しきれなかった金額がない場合は「控除外額0円」)と記載します。 さらに、合計所得金額が1,000万円超である居住者の同一生計配偶者(以下「非控除対象配偶者」といいます。)分を年調減税額の計算に含めた場合には、上記に加えて「非控除対象配偶者減税有」と記載します。退職等により年末調整を行っていない場合は、定額減税等の記載は不要です。										

給与支払報告書(個人別明細書)

(市区町村提出用)